

まちづくり提言の公表（令和6年7月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	意見の内容（一部を要約しています。）	回答内容（一部を要約しています。）	担当課
災害警報等のお知らせについて	豪雨等、災害警報の市からのお知らせが防災ラジオや携帯等でアナウンスがありますが、周南市は範囲が広いので直接の警報当該地域以外にも全てアナウンスが入り、特に深夜帯では直接避難が不必要なエリアでもアナウンス音により起こされてしまいます。注意喚起が大切なのは重々承知ではありますが、時間帯によってはアナウンスを当該地域のみにある程度限定するなどの工夫があればと感じます。	災害時における避難情報等の発信において、防災行政無線による放送は地区を限定することができますが、その他の情報伝達方法については、システム上、市全域に発信される仕様となっております。本年7月1日の大雨災害においても、命に関わる緊急性が高いため、緊急速報メールの配信を実施いたしました。今後も命に関わる緊急性の高い情報をできるだけ多くの人に届けるため、様々な方法で情報の発信をしていきたいと考えております。	防災危機管理課
福川中学校の自転車通学について	福川中学校は何故自転車通学が許可されないのでしょうか。他の学校は許可される距離でも福川中学校は許可されません。その為送迎する親が増え、渋滞し、下校時も部活帰りは暗くなり、心配しています。	福川中学校には以前より自転車通学に対する要望があり、何度も協議、検討を重ねてまいりました。しかしながら、福川中学校周辺には狭い道から踏切に繋がる道が多数存在するため、多数の自転車通学生が一斉に登校することになれば、交通事故のリスクが高まることが予想されます。また、自転車通学に反対する地域の声が多いこともあり、交通事故防止の観点から、引き続き自転車通学を許可しないという結論に至りました。 なお、長田地区など学校から遠い地区から登校している生徒への配慮として、年々、最終総下校時刻を早めるなどの措置を講じております。	学校教育課
ミライロの導入について	市の施設でミライロIDを使えるようにしてほしいです。障害者手帳を出すと、周りに障害者ということが伝わり気まずい思いをします。どうぞよろしくお願いします。	障害者手帳などの情報を一元化することのできるアプリの導入は、スマートフォンで管理することができるので必要な時にすぐ見せたりサービスを受けやすくなると考えています。具体的な時期は決まっていますが、市公共施設での導入について検討したいと考えております。	障害者支援課
障害者採用の年齢について	周南市役所は、障害者採用の年齢制限を高卒に合わせていますが、大卒に合わせるべきではないでしょうか。なぜなら、大卒の障害者もあり、その人たちは受けられる期間が短いからです。障害がありながら自分の力を発揮し働くということに理解を得るにはまだまだ障害者雇用は一般的ではなく、正社員採用も少なく厳しい状況が続いています。年齢制限まで高卒に合わせる必要はないかと思えます。	採用試験の年齢要件は、試験区分・職種ごとに、毎年の応募状況や社会情勢等を考慮したうえで決定しています。 令和6年度の採用試験では、障害者対象の行政事務の年齢要件は35歳以下、高卒程度の行政事務は21歳以下としており、他の試験区分・職種に合わせられているということではありません。 障害者の雇用促進のため受験できる期間を長くしてほしいというご意見については、来年度以降の採用試験の参考にさせていただきます。	人事課